

平成 18 年 11 月 7 日

会社名 **株式会社 CSKホールディングス**
 代表者名 代表取締役社長 福山 義人
 問合せ先 執行役員経理部長 熊崎 龍安
 電話番号 03-6438-3030
 (コード番号 9737 東証 第一部)

平成 19 年 3 月中間期 連結決算の要旨

◆ 決算ダイジェスト

1. 売上高(前年同期比 +7.8%)、営業利益(同 +196.5%)、経常利益(同 +158.3%)となり、**営業利益・経常利益は、中間期として最高益を更新。**
2. 情報サービスの業績回復と安定的な事業基盤の拡大。
3. サービスプロバイダーへのシフトを業績面で支える金融サービス事業が安定的に収益貢献。

◆ 前年同期比サマリー

(単位:億円)

	2004/9	2005/9	2006/9	前年同期比増減	
				増減額	増減率
売上高	1,757.6	1,109.8	1,196.2	86.4	+7.8%
営業利益	118.0	64.9	192.4	127.5	+196.5%
営業利益率	6.7%	5.8%	16.1%	+10.2%	-
経常利益	135.4	76.6	198.0	121.4	+158.3%
中間純利益	301.6	116.0	104.9	△11.1	△9.6%

売上高 及び 営業利益 :

- ・売上高は、情報サービス事業におけるASP、BPO、検証、システム開発が順調に推移したこと、及び金融サービス事業が拡大したことにより、1,196.2 億円(前年同期比 7.8%の増収)となりました。
- ・営業利益は、前述の増収要因に加え、情報サービス事業におけるシステム開発の収益性の向上及び製品化に伴うR&D費用の減少により、同事業は大幅な増益となりました。また、金融サービス事業も好調に推移し、営業利益全体で 192.4 億円(前年同期比 3.0 倍の増益)となりました。

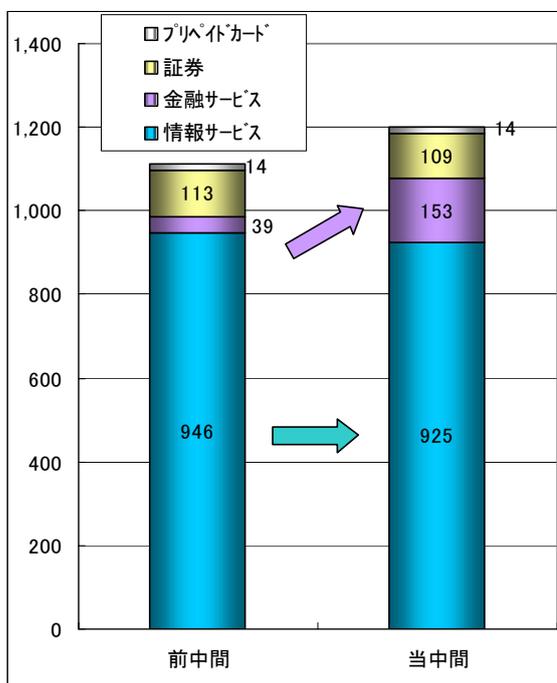
経常利益 及び 中間純利益 :

- ・経常利益は、営業利益と同様の理由により、198.0 億円(前年同期比 121.4 億円(2.6 倍)の増益)となりました。
- ・中間純利益は、前中間期に特別利益として投資有価証券売却益があったこと等により、104.9 億円(同 11.1 億円(9.6%)の減益)となりました。

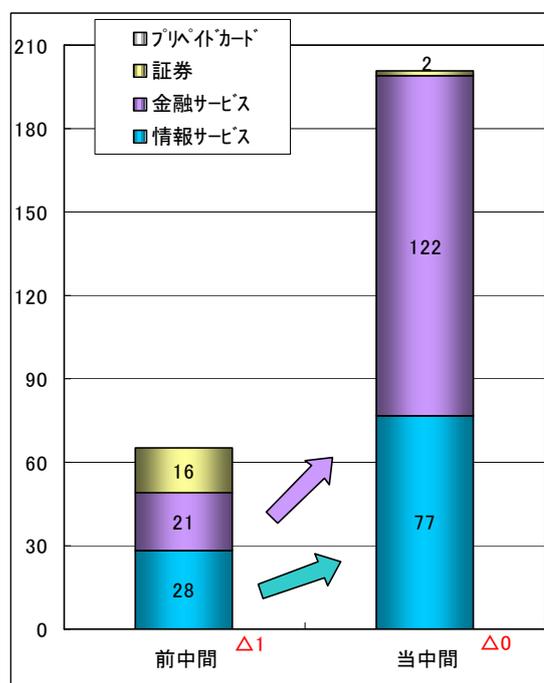
◆ セグメント別 業績（連結）

（単位：億円）

セグメント別 売上高



セグメント別 営業利益



※上表には、消去及び全社は含まれておりません。

<情報サービス事業>

- 売上高は、ASP、BPO、検証、システム開発関連が順調に推移しましたが、機器販売のリプレース需要の減少等により、売上高全体では、925.3 億円（前年同期比 21.5 億円（2.3%）の減収）となりました。
- 営業利益は、ASP、BPO、検証、システム開発関連の順調な推移に加え、システム開発の収益性向上、前中間期にR&Dとして費用処理した案件の製品化（ソフトウェアとして資産計上）等に伴いR&D費用が減少したことから、77.1 億円（同 48.7 億円（171.7%）の増益）となりました。

<金融サービス事業>

- 金融サービス事業では、各種の投資事業等が順調に推移したことから、前年同期比は増収・増益となりました。

<証券事業>

- 売上高は、トレーディング収益の減少により 109.9 億円（前年同期比 3.1 億円（2.8%）の減収）となりました。
- 営業利益は、広告宣伝費、人件費、システム関連等の販売費及び一般管理費が増加したことにより、2.8 億円（同 13.3 億円（82.3%）の減益）となりました。

<プリペイドカード事業>

- 売上高は、新たな販路の開拓や導入顧客の増加により 14.6 億円（前年同期比 0.6 億円（4.7%）の増収）となりました。この増収を背景として中長期的成長のための積極的な営業展開による販売費及び一般管理費の増加により、営業損失 0.9 億円となりましたが前年同期比で 6 百万円改善しております。

◆ 連結業績予想

平成19年3月期の連結業績の見通しについては、平成18年5月9日に公表した業績予想からの変更はなく、以下のとおりであります。

売上は、顧客企業のIT投資が活況に推移する見通しであることにより、情報サービス事業が増収になる見通しであります。

営業利益及び経常利益は、情報サービス事業においては、BPO関連事業の拡大、収益性の改善が進むこと等から、大きく増益になるものと考えております。また、金融サービス事業及び証券事業が引き続き安定的に収益貢献し、営業利益全体では、35.3%の増益となる見通しであります。経常利益についても、営業増益に伴い29.7%の増益となる見通しであります。

当期純利益は、前期において保有資産の流動化による特別利益を計上いたしましたが、平成19年3月期は多額の特別利益は想定していないこと等の理由により、減益となる見通しであります。

(単位:億円)

	2005/3	2006/3	2007/3 予想	前期比増減	
				増減額	増減率
売上	3,199.9	2,411.5	2,600.0	188.4	+7.8%
営業利益	240.4	251.3	340.0	88.6	+35.3%
営業利益率	7.5%	10.4%	13.1%	+2.7%	-
経常利益	276.2	269.8	350.0	80.1	+29.7%
当期純利益	333.4	308.7	180.0	△128.7	△41.7%

以上